



# 八中だより



第17号

令和8年1月8日

府中市立

府中第八中学校



〈在籍生徒数〉 一年生250名、二年生218名、三年生245名

全校生徒数713名

〈学校住所・電話番号〉

府中市四谷一丁目二八二七

〒182-0035 電話 〇四二(三六四)一八八一

★3年生の皆さまからいただいたお米のイラストが次号の表紙に登場します！

『新しい年がスタート！一月一日の気持ちをもち続けたい』（始業式式辞） 校長 高汐 康浩

詩の本文等について  
校外向け配布及び  
ホームページ掲載

のための

掲載許可を

得られていませんので

掲載しません

## 《花の詩画集》

速さの違う時計「かぶ」

星野富弘

(借成社)より

※借成社から学校だよりへの掲載の  
許諾をいただいています。

この詩は、星野富弘さんが一九九〇年につくられた詩です。すべての人が、いつも「一月一日」の気持ちをもって生活できたなら・・・きっと、本当に平和なことではないでしょうか。もしかすると、一年三六五日の中でおだやかな気持ちをもっている人が一番多い日かもしれません。

しかし、人間には心があります。ですから、うれしくて、うれしくて飛び跳ねてしまうこともあれば、くやしくて、くやしくて涙が出てしまうこともあります。喜んだり、怒ったり、その気持ちは常に一定ということはありません。個人だけでなく社会もそうです。「社会の縮図」である学校には、自分の思い通りにならないことがあつたり、いやな思いをしたりすることがあります。皆さんもよく分かっていることだと思えます。

私は、お正月に箱根駅伝をテレビで観戦します。いつも出場選手、母校の活躍を応援しつつ、一人一人にいろいろなドラマがあつたのだろうなと思いつつ見えています。以前、ある選手が残した「腐っていた時期もある。でも人に支えられ、ここまで来られた。次は自分が人の成長を支えられる人になりたい。」という言葉は本当に印象的でした。そして、今年も感動的な場面をたくさん見ることができました。青山学院大学の原監督の「まずは、全ての人に感謝、本当に感謝している」という言葉をはじめ、多くの選手が支えてくれた人たちへの『感謝』の言葉を言っていたことも心に残っています。

二期期の終業式の日、何人かの生徒の皆さんから笑顔で「よいお年をお迎えください」と声を掛けられました。まさに「笑顔で挨拶を交わし小さなことにもよろこび」の実践だと思いました。八中生の皆さんには、「一月一日」の落ち着いた気持ちをもつとともに、「初心」をときどき意識してほしいと思います。あわせて、自分を支えてくれていていつも「感謝」する気持ちをもってほしいと思います。私自身も、初心を忘れずに、「笑顔で挨拶を交わし 小さなことにもよろこび 嘘を言わず 悪口も言わず 全てのこと感謝し 人のしあわせを祈る」こんなことが普通にできるようになりたいと思います。

# おたのしみ

思春期は、心身ともに大きく成長する時期だからこそ、悩みをもつことがあります。悩みを抱えてしまったり困っているときに、相談できる相談窓口はたくさんありますので、『♡♡安心♡♡』してください。リーフレット「不安や悩みがあるときは…一人で悩まず、相談しよう」「相談するとうなるの?」「保護者向け相談窓口一覧」と「TOKYOほっとメッセ」チャンネルを紹介いたしますので、活用してください。下の二次元コードから、またはURLをクリックすることでアクセスできます。



# Topics

## 豆知識!

### 「松を使わない府中の門松」の話

「♪年のはじめのためしとて終わりなき世のめでたさを松竹たてて門(かど)ごとに」：お正月のテレビ番組などでよく流れる曲です。その歌詞は「家」ことに門松(かどまつ)をたててお祝いをする」という内容です。さて、府中の大國魂神社の七不思議のひとつに、神社境内には松の木が一本もなく、また植樹してもすぐに枯れてしまうという言い伝えがあることを知っていますか?これは、神様がまだ現世の神として散歩しているときの話です。大國様と八幡様が、「どうだい、大國さん、二人で武蔵野の野原に行こう」ということで出かけたものの暗くなっても宿が見当たりにません。そのうち八幡様は「ここで待っていて、俺が宿を捜してくる」と言って出かけましたが帰ってきません。待ちぼうけをうけた大國様は、「まつはうい(※)ものつらいもの」「まつは大嫌いだ、まつはいやだ」と言ったそうです。ここから、大國魂神社では「待つ」を「松」にたとえて、植物の松を嫌うようになり、今でも境内には松の木は一本もなく、植えてもすぐに枯れてしまふと言われているそうです。また、府中では正月の門松にも松を使わない習慣が残っているのだそうです。(※「うい」…苦しい)

### 四谷「ミ協」とんど焼きのごとひ(一月十八日)

今年も四谷文化センター圏域コミュニティ協議会主催の「とんど焼き」の準備を一月十一日曜日に行います。この準備には、たくさんの中学生在が協力をする予定です。「とんど焼き」は一月十八日に行われます。「とんど焼き」の主役は子どもたちです。子どもたちは神の使いとなり、招福や厄払いといった行事の大切な役割を担います。「とんど焼き」は昔から続く正月を締めくくる伝統的な行事です。



昨年のとんど焼き

<https://www.fuchu-tokyo.ed.jp/fuchu08c/02gaiyou/15108533456459d8e4a01a420230509142348.html>

<https://ijime.metro.tokyo.lg.jp/message/>

# 活躍する八中生

[敬称略]

- ★演劇部★
  - 第72回 北多摩演劇舞踏発表会
  - 優秀賞 演目「先生放課後っていつまでですか」
  - ★バスケットボール部★
  - 2025年度 中央大学杯スポーツ大会
  - バスケットボール中学生男子の部 優勝
  - ★卓球部★
  - 2025年度 中央大学学長杯
  - 中学生女子の部 準優勝 嶺川 恵実 中美那 濱田 千晴
  - 東京都中学校第九ブロック中学校新人卓球大会(団体の部)
  - 男子団体 優勝 小川 歩優樹 中山 和飛 土井 遣士
  - 女子団体 第4位 谷本 雅弥 中村 薫 森川 優人 植村 頼人
  - 女子団体 第5位 深澤 しより 大島 心 西野 知紗登
  - 潮実花 善元 明花里 中村 麦
  - 濱崎 華帆 高橋 美良 相馬 未来
- ※学校外でのスポーツ活動、文化活動等における生徒の活躍について学校だよりで紹介いたしますので、受賞等があった場合は学級担任にご連絡ください。

### 『南米の楽器演奏会と講演会』を行います!(二月九日)

南米の音楽に親しみ、外国の音楽や文化に興味をもつ機会としてこのイベントを実施します。講師は島根県小学校で校長先生をされていた横田裕二先生です。当日は、バンドネオンの演奏をはじめ南米のさまざまな楽器の演奏と南米の音楽文化のお話をしていただきます。



- 一月の生活目標 □
- 礼儀正しい態度を心がけあいさつ・ことばを大切にしよう
- ～初心忘るべからず～
- 【一月の主な予定】
- 九日(金) 実力テスト(一、二年)
  - 十日(土) 土曜授業・学校公開
  - 十五日(木) 生徒会専門委員会・中央委員会
  - 十八日(日) とんど焼き(四谷文化センター)
  - 十九日(月) 生徒朝会 二十日(火) 和太鼓体験学習(一年)
  - 二十六日(月) 二十七日(火) 都立高校推薦入試

